

授業名	日本語日本文学科 現代文学講読 II（後）
授業内容	庭の要素を含む異世界物語を登場人物の喪失感情に注目しながら読むことで、近現代の作品を作家や作品別ではなくテーマやイメージを手がかりに読む読み方の実践に触れる。文学研究と精神分析の関連も考えていきたい。主人公らは外的な事件に出会うだけでなく、心理的な様々な感情の揺れを体験する。作品を読みながら、このような点を考えていく。
授業構成	1 イン트로ダクション 2 短編作品 3 短編作品その2 4 梨木香歩『裏庭』1～4 5 『裏庭』5, 6 6 『裏庭』7, 8 7 『裏庭』9 8 『裏庭』10 9 『裏庭』11、エピローグ 10 映像作品 11 伊藤計劃『ハーモニー』01 12 『ハーモニー』02 13 『ハーモニー』03 14 『ハーモニー』04 15 『ハーモニー』05

授業名	人間科学科 外国文献基礎演習（１クラス） ※定員３名まで
授業内容	欧文で学術書を読むために必要な基礎技術を養成することを目的とする。哲学・芸術学・心理学等を扱う英語の文献を読解していくことにより、人間科学科で学ぶ分野における専門用語を含んだ欧文読解力をつける。 前期の西は哲学および文芸学に関するテキストを、後期の野崎は心理学に関するテキストを読んでいく。
授業構成	【後期】担当：野崎 第一回 オリエンテーション 指定文献の概略と講読ポイントの説明 第二回 Emotion Regulation: Conceptual and Empirical Foundations 第三回 The Neural Bases of emotion and Emotion Regulation: A Valuation Perspective 第四回 Temporal Dynamics of Emotion Regulation 第五回 A Neurobiological Model of Implicit and Explicit Emotion Regulation 第六回 The Role of Emotion and Emotion Regulation in the Ability to Delay Gratification 第七回 Emotion Regulation Choice: Theory and Findings 第八回 Emotion Regulation and Decision Making 第九回 Self-Regulation, Effortful Control, and Their Socioemotional Correlates 第十回 Socialization of Emotion and Emotion Regulation in the Family 第十一回 Emotion Regulation in Adolescence 第十二回 Emotion Regulation and Aging 第十三回 Social Baseline Theory and the Social Regulation of Emotion 第十四回 Attitudes, Evaluation, and Emotion Regulation 第十五回 全体の振り返りとディスカッション 第十六回 期末試験

授業名	教職科目 教育原論（１クラス）（後）
授業内容	教育の理念にはどのようなものがあり、教育の歴史や思想において、それらがどのように現れてきたかについて学ぶ。また、欧米や日本において、これまでの教育及び学校の営みがどのように捉えられ、変遷してきたのかを理解する。 本講義は、はじめに、教育学の諸概念並びに教育の本質及び目標を理解し、子供・教員・家庭・学校など教育を成り立たせる要素とそれらの相互関係を理解し、家族と社会による教育の歴史、近代教育制度の成立と展開、現代社会における教育課題を歴史的な視点から理解し、さらに、家庭や子供に関わる教育の思想、学校や学習に関わる教育の思想、代表的な教育家の思想を理解する。
授業構成	第１回：オリエンテーション —教育学の諸概念並びに教育の本質、人間にとってなぜ教育が必要か（カント・ポルトマン）— 第２回：教育の基本的概念 —子供・教員など教育を成り立たせる要素とそれらの相互関係、教育と人間形成・脳科学— 第３回：教育の基本的概念 —家庭・学校など教育を成り立たせる要素とそれらの相互関係、教職の意義— 第４回：教育思想史 —家族と社会による教育の歴史（ソクラテス・プラトン）— 第５回：教育思想史 —家族と社会による教育の歴史（ロック・ルソー）— 第６回：教育思想史 —家庭や子供に関わる教育の思想（カント・ペスタロッチ）— 第７回：教育思想史 —学校や学習に関わる教育の思想（コメニウス・ヘルバルト）— 第８回：教育思想史 —学校や学習に関わる教育の思想（フレーベル・オーエン）— 第９回：教育思想史 —近代教育制度の成立と展開（モンテッソーリ・ホーレス＝マン）— 第１０回：教育思想史 —近代教育制度の成立と展開（日本の明治・大正・戦前の教育）— 第１１回：教育思想史 —現代社会における教育課題（日本の戦後・現在の教育）— 第１２回：教育思想史 —代表的な教育家の思想（デューイ）— 第１３回：教育思想史 —代表的な教育家の思想（ヴィゴツキー・パーカー＝スト）— 第１４回：教育思想史—代表的な教育家の思想（世界の教育改革）、カリキュラム・マネジメントと「主体的・対話的で深い学び」— 第１５回：まとめ —教育改革の現状と課題、新学習指導要領改訂のポイント— 定期試験

授業名	教職科目 社会科・公民科教育法 II（社会・公民科教育法 II）（2 ｸﾗｽ）（後）
授業内容	中学校社会科公民的分野及び高等学校公民科の内容について、学習指導要領の趣旨を踏まえ、教材研究を深め、学習指導案を作成し、模擬授業を行って実践的指導力を高める。学校現場に通用する資質・能力の育成を目指す。
授業構成	第 1 回：オリエンテーション ・ 学習指導要領社会科・公民科の目標 ・ 講義の目的・内容・進め方・評価等の確認 ・ 模擬授業の説明と登録について ・ 模擬授業の実施日程とテーマの決定 第 2 回：学習指導要領社会科・公民科の内容について、教員採用試験専門科目について 第 3 回：模擬授業の実践と授業研究（中学校社会科公民的分野）政治 第 4 回：模擬授業の実践と授業研究（中学校社会科公民的分野）経済 第 5 回：模擬授業の実践と授業研究（中学校社会科公民的分野）国際社会 第 6 回：模擬授業の実践と授業研究（高等学校現代社会）青年と自己実現 第 7 回：模擬授業の実践と授業研究（高等学校現代社会）民主政治と法 第 8 回：模擬授業の実践と授業研究（高等学校現代社会）現代の経済社会 第 9 回：模擬授業の実践と授業研究（高等学校倫理）人間としての自覚と生き方 第 10 回：模擬授業の実践と授業研究（高等学校倫理）現代社会と倫理 第 11 回：模擬授業の実践と授業研究（高等学校倫理）日本の風土と外来思想の受容 第 12 回：模擬授業の実践と授業研究（高等学校政治経済）現代の政治 第 13 回：模擬授業の実践と授業研究（高等学校政治経済）現代の経済 第 14 回：模擬授業の実践と授業研究（高等学校政治経済）現代社会の諸課題 第 15 回：総括（受講生の今後に望むもの） 第 16 回：定期試験

授業名	共通科目 プラクティカル・キャリアデザイン (C) (後)
授業内容	★自分の理想の未来を創りにいくアクティブラーニング形式の授業 「受ける授業から創る授業・創るキャリアへ」と題して進めていくので、自分の進路について具体的な進路について描いてゆける。さらに具体的な目標設定と手段にも踏み込むため、一般論ではなく、自分の理想に近づいてゆく。 詳細は以下のとおり。 ①インターンシップ・就職活動（教員・公務員・起業・進学・留学などを含む）を中心に将来の進路の描き方（キャリアデザイン）を実践的に学ぶ。自己分析など演習を中心におこなう。前期と後期ではインターンシップや選考など時期にあわせて内容を変える。 ②『受ける授業から創る授業へ』やがて自分の就職活動などキャリアデザインに『活かせる授業へ』。一方的な講義だけで終わる 90 分はない。ワークショップを中心とした、学生同士が学びあい育てあい活かしあう授業。 ③キャリアコンサルタントである講師（私）が最新の社会変化や就職活動に関する情報を元に講義をおこない、よりスムーズな就職活動がおこなえるものを目指す。 ④今期も経営者、起業家、人事部採用担当などゲストは多彩に招致する。例年 OBOG を含め 30 人ほど。 ⑤講師、ゲスト、学生同士との対話が中心になるので、相当賑やかな授業になる。個性を尊重し、紳士・淑女たるべく授業となる。同時に考え方とやり方の両方を重んじる。本番に備える授業であるので、対話などが多くなる。だからこそ自分の未来にとって楽しく役立つ授業を一緒に創ってゆける。
授業構成	全体構成 キャリアデザインや就職活動の基本→思考行動方法の提案→目標設定→コミュニケーション能力開発→自己理解（自己分析）→業界・企業・職種研究→時代のトレンド変化→面接対策→グループワーク対策→プレゼンテーション === 第 1 回 □オリエンテーションーキャリアデザインと就職活動ー □キャリアデザインの基本①ー日本全体と甲南大学生の進路実態ー 第 2 回 □キャリアデザインの基本②ー就職活動の構造と流れー 第 3 回 □キャリアデザインの実践①ー問題志向から、ソリューションフォーカスへの転換ー □キャリアデザインの実践②ー「光り輝く存在」としての 2 ゴール設定ー □キャリアデザインの実践③ー自分の現在地と目標を確認しよう 第 4 回 □コミュニケーションの基本①ーコーチングに学ぶコミュニケーションの伸ばし方ー 第 5 回 □社会との接点ーインターンシップ・スタディツアーを中心に夏休みキャリア計画ー 第 6 回 □自己分析①・②ー自分エンジン・グラフ作成とペンタ plus ワンー □エントリーシート作成① + 模擬面接①（はじめての自己 PR 編） 第 7 回 □自己分析③ー価値観とはー

	□自己分析④－個性とは－ 第 8 回 □社会研究・企業研究②－俯瞰図で仕事の流れを見る力を養う □社会研究・企業研究③A 第 9 回 □社会研究・企業研究③B ゲストデ－人事部の考えと行動から学問 第 10 回 □社会研究・企業研究④－職種研究を俯瞰図で見る、そして自分の役割へ－ □社会研究・企業研究⑤A－グループワーク（作戦会議編）－ 第 11 回 □社会研究・企業研究⑤B－グループワーク（発表編）－ □エントリーシート作成②A－（志望動機を加えて）－ 第 12 回 □エントリーシート作成②B+模擬面接②（志望動機を加えて）－ □社会研究・企業研究⑥A－社会人の考えと行動から学問 第 13 回 □社会研究・企業研究⑦－グローバル社会研究－ 第 14 回 □エントリーシート作成③+模擬面接③（ES＋自己 PR＋志望動機＋志望内容） □キャリアデザイン実践・最終作戦会議 □自己採点 第 15 回（前期は 7/15 土曜日に実施） □社会研究・企業研究⑥B－社会人の考えと行動から学問
--	---